事務連絡

平成27年12月25日

　各郡市医師会長　　　　　様

　各郡市学校保健担当理事　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　山口県医師会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　常任理事　藤本　俊文

「学校検尿主治医精密検査実施ガイドライン」（改訂第3版）に係る

専門医療機関への紹介の値の一部変更に伴う対応について

学校保健につきましては、平素から種々ご配意いただき厚くお礼申し上げます。

　さて、標記ガイドラインにつきましては、山医発第610号（平成26年10月20日付）にて送付したところですが、このたび、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度版」（平成27年8月25日付け文部科学省監修、公益財団法人日本学校保健会発行）（以下、「マニュアル」という）において、尿検査の＜専門医への紹介＞の値が、下表・下線部のとおり変更となりました。

このことについて、協議の結果、来年度の健康診断につきましては、マニュアルに沿って実施していただくこととなりましたので、お知らせいたします。

　また、変更に伴い、P6の「4．血液検査その他」とP16の「表４暫定診断」の一部が下記のとおり変更となりますので、併せてお知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましてもご了知いただきますとともに、学校医等関係会員へ周知方賜りますようよろしくお願い申し上げます。

|  |  |
| --- | --- |
| 山口県医師会 学校検尿ガイドライン（P10） | マニュアル（P55） |
| 専門医療機関への紹介　検尿陽性者のうち、以下のような場合には専門医へ紹介してください。１．早朝第一尿の蛋白及び蛋白／クレアチニン比（g/g）がそれぞれ（＋）程度、０．２～０．４の場合は、６～１２か月程度の持続が見られたもの（以下、省略） | ＜専門医への紹介＞　早朝第1尿の蛋白及び尿蛋白・クレアチニン比（g/g）がそれぞれ以下の者は、専門医に紹介する。　１＋程度、０．１５～０．４の場合は６～１２か月程度の持続が見られる者（以下、省略） |

山口県医師会　学校検尿ガイドライン

|  |  |
| --- | --- |
| 変更前 | 変更後 |
| P6　　4．血液検査その他　２）尿蛋白陽性の場合末梢血一般、尿素窒素、尿酸、総蛋白、アルブミン、総コレステロール、Na、K早朝尿と来院時尿の比較、尿蛋白定量、尿蛋白/クレアチニン比（正常：０．２g/g未満）、尿中β2ミクログロブリン（正常：250μg/Lあるいは300μg/gCr未満）P10専門医療機関への紹介　　検尿陽性者のうち、以下のような場合には専門医へ紹介してください。１．早朝第一尿の蛋白及び蛋白／クレアチニン比（g/g）がそれぞれ（＋）程度、０．２～０．４の場合は、６～１２か月程度の持続が見られたものP16　　表４暫定診断　　尿蛋白（＋）以上は、尿蛋白／クレアチニン比０．２以上としても判定可能  | P6　　4．血液検査その他　２）尿蛋白陽性の場合末梢血一般、尿素窒素、尿酸、総蛋白、アルブミン、総コレステロール、Na、K早朝尿と来院時尿の比較、尿蛋白定量、尿蛋白/クレアチニン比（正常：０．１５g/g未満）、尿中β2ミクログロブリン（正常：250μg/Lあるいは300μg/gCr未満）P10専門医療機関への紹介　　検尿陽性者のうち、以下のような場合には専門医へ紹介してください。１．早朝第一尿の蛋白及び蛋白／クレアチニン比（g/g）がそれぞれ（＋）程度、０．１５～０．４の場合は、６～１２か月程度の持続が見られたものP16　　表４暫定診断　　尿蛋白（＋）以上は、尿蛋白／クレアチニン比０．１５以上としても判定可能 |

 山口県医師会事務局医療課（担当：白井）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　 TEL:083-922-2510/FAX:083-922-2527